

■ ICポルトの希釈方法

ICポルトは粘度のある懸濁液ですので、まず箱からフィルム袋を取り出し、繰り返しよくもみほぐしてください。

①保護眼鏡、ゴム手袋
防除衣、ゴム長靴を
着用。



②凹凸のない平らな所で
ICポルト袋の中心
部にこぶしを押し込む
ようにしてよくもみほ
ぐす。



③水を八分目入れた
SSにICポルト
を入れる。



④固まりがこし網に
ある場合、残りの
水量の水圧で
流し込む。



③ポリバケツに
倍量の水を入
れて、
ICポルト
を加えてよく
かき混ぜる。



④タンクに混
合液を入れ、
よくかきま
ぜる。



■適用病害虫の範囲及び使用方法(塩基性硫酸銅28.1%、普通物、B類)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	銅を含む 農業の総 使用回数
こんにゃく	腐敗病	40倍	100~300ℓ /10a	—	—	散布	—
	葉枯病	40~80倍					
ばれいしょ	疫病	50倍	—	—	—	—	
やまのいも やまのいも(むかご)	青かび病	2倍					—

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	銅を含む 農業の総 使用回数
茶	炭疽病	50倍	150~400ℓ /10a	最終 摘採後	—	散布	—
	赤焼病						
ゆり	葉枯病	50倍	100~300ℓ /10a	—	—	散布	—
樹木類 (シュードサーコスボラ菌)	斑点症	50倍	100~700ℓ /10a	—	—	散布	—

効果、薬害などの注意

- 石灰硫黄合剤、有機リン剤、マン油乳剤等を混用すると薬効を減じ、また薬害を起こす原因となるので混用しないこと。
- 散布直後に降雨があると薬害が発生しやすいので注意すること。
- 高温時の散布では、葉及び新梢にホルド液特有の銅による薬害が発生する場合があるので注意すること。
- 核果類(もも、うめ、あんず)には薬害を生じる恐れがあるので、生育期にははかからないように注意すること。
- ぶどうの無袋栽培で使用する場合、果房に汚れが生じる恐れがあるので果実肥大期以降の散布は避けること。
- おとうろに使用する場合、北光には薬害を生じる恐れがあるので、使用を避けること。また、果実に汚れを生じるので収穫間際の散布は避けること。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意すること。
 - 新梢伸長期には石灰による葉焼けを生じる場合があるので、新梢伸長期にはパラフィン系展着剤を加用すること。
 - 梅雨明け以降の夏季高温時の散布は、薬害(スターメラノーズ)を生じる恐れがあるので使用を避けること。
 - 樹勢の弱い樹や異常低温が予想される場合は、落葉を助長する恐れがあるので使用しないこと。
 - 幹腐病防除に高濃度(2倍)で使用する場合は、枝幹の病斑部に処理をすることとし、葉や果実に薬液がかからないように注意すること。
- トマトに使用する場合、果実に汚れが生じる恐れがあるので注意すること。
- びわに使用する場合、効果期以降収穫までは薬害を生じる恐れがあるので使用しないこと。
- ゆりに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - 切り花用のゆりには、汚れを生じるので、注意すること。
 - オリエンタル系のゆりには、薬害を生じることがあるので使用しないこと。
- アスパラガスの茎枯病防除に使用する場合、高濃度(50倍)散布では、茎に汚れを生じる恐れがあるので、収穫終了後の散布とすること。
- もものせん孔細菌病防除に使用する場合、薬害を生じる恐れがあるので、開花後から8月末までは使用しないこと。
- レタス及びはくさいに使用する場合、生育期後半の散布及び連用によって薬害を生じる場合があるので注意すること。
- キャベツに使用する場合、結球期以降の散布では汚れを生じる場合があるので注意すること。
- キウイフルーツに使用する場合、発芽後の散布は薬害を生じる恐れがあるので、使用時期を厳守すること。
- いちじくに使用する場合、新根に薬害が発生する恐れがあるので定植1年目までの苗木には使用を避けること。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において、事前に薬害や作物への汚れの有無を十分確認してから使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

近接散布

農業散布の前後関係による散布間隔を厳守して下さい。

- ICポルト → 石灰硫黄合剤 **2週間**
- ICポルト ← 石灰硫黄合剤 **10日間**
- ICポルト ↔ マシン油乳剤 **2週間**

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
 - 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
 - 使用の際は保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用すること。
 - 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- その他
- 保管→乾燥固結しないように密封して貯蔵すること。また、凍結するとその物理的性状が劣化するので、凍結には十分注意して保管すること。
 - 魚毒性→本剤は水産動物に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用には十分注意すること。

●ラベルをよく読む。 ●登録作物以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。

INOUE
CALCIUM CORPORATION

水で溶かすだけで
今日から
安くて簡単
効き目も強い!

楽々! ICポルト



井上石灰工業株式会社

〒783-0060 高知県南国市蛸が丘2丁目3番地5 TEL.088-855-9965 FAX.088-880-8808
http://www.inoue-calcium.co.jp